

## ■有線型ロボット対戦競技のQ&A

Q 1. ツリーBOXのツリーについての詳細は？

- A 1. 有線競技に出場する学校へは、完成品を2個無料配付します。  
無料配付以上に個数が欲しい学校については実費程度の有料で配付しますので、事務局までご連絡下さい。  
発泡スチロールBOXとツリーは、差し込み&接着剤で固定しています。  
差込後のツリー部の高さは約250mmとなります。全体の重量は約270gです。

Q 2. ツリーをつかんで運んでも構いませんか？

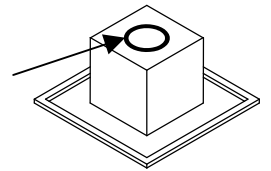
- A 2. 構いません。

Q 3. 操作中にツリーが抜けてしまったらどうするのですか。

- A 3. 各試合前にチーム内の1人にBOXとツリーの固定具合を確認してもらいます。

(BOXを手で持ってひっくり返したり、ツリーの付け根を引っ張ってみる等)

それでも不可抗力によって抜けてしまったと審判が判断した場合は、そのまま競技を続行し、ツリーが差し込んであった面が上面になるように得点枠内に置いて下さい。



但し、この上面に他のBOXを載せて運ぶことは禁止とします。

運びやすいからといって故意にツリーを抜いた場合は、そのBOXは無効とします。

予選、決勝ともこの内容を適用します。

ツリーに触っていないなくても、BOXを乱暴に扱おうとツリーが抜ける場合があります。

BOXは大切に扱って下さい。

Q 4. BOXをはさむ時、コントローラとハンド部の間には必ず電気信号を介していないといけませんか。

例えば、カメラのシャッターボタンに使われるケーブルリリースのような機構を利用しても構いませんか。



- A 4. ワイヤ等を利用し、人間の力のよって直接BOXが操作できると、図のような遠隔操作ができるマジックハンドがOKになってしまいますので禁止とします。



ただし、このような機構でも力を加える操作部をモータなどで動かせばOKです。

コントローラからは、電気信号を介してアクチュエータを制御し、BOXを操作して下さい。

Q 5. 競技台の塗装についての詳細は？

- A 5. ターナー色彩(株) ターナーネオカラーで塗装します

Q 6. 競技場でスタートエリアと反対側も操作エリアですが、どれくらいの距離がありますか。

A 6. 1500mm のスペースがあります

Q 7. 競技台に機体が登るのは許可されていますが、操縦者がスロープ上での操作をしやすくするために、スロープに足をかけるのは許可されるのでしょうか？

A 7. 競技者が競技台に上ることはできません

Q 8. 操縦者は1名です、とありますが操作の指示を出してくれる人が欲しいのですが。

A 8. 補助員1名を許可します。競技中は競技場の外（カーペットの外）で待機することとします。補助員はスタート前のセッティング、終了後のロボットの撤収、操作の指示を行なって下さい。